

「愛顔つなぐハートフルポイント制度」

理事長 川崎 壽洋

県民の授産製品購入等の意欲の向上を図るとともに、地域経済の活性化を図ることを目的として、障害者就労施設で製造する授産製品を購入したり、障害者就労施設が提供する役務を利用した消費者に対し、購入等金額に応じてポイントを交付し、所定数のポイントが集まれば、商品券と引換えることができる障害者授産製品消費喚起事業（愛顔つなぐハートフルポイント制度）が6月15日からスタートしました。

わかりやすく説明すると、障害者就労施設から物を買ったりサービスの提供を受けると、その金額に応じて百円につきポイントシール一枚がもらえて、もらったポイントシールを専用のポイントカードに貼り付けていきます。25ポイントたまると五百円の商品券50ポイントたまると千円の商品券をもらえるという制度で、購入金額の20%が商品券として戻ってくるため2割お得になるといいう制度です。

商品券の額面については五百円のみしか取り扱っていない店舗や千円のみ店舗、両方とも取り扱っている店舗もあるので、詳しくはホームページやパンフレット等でご確認ください。

商品券を発行している店舗が少ないのが残念ではあるのですが、JCBギフトカード、伊予鉄高島屋、フジ、セブンスター、ダイキグループ、一部の明屋書店（全国共通図書カード）、宇和町商業協同組合、野村町商業協同組合などで、たまったポイントシールと商品券を交換してもらえます。

ポイントシールの交付期間は11月30日までで、商品券への引換期間は12月31日までとなっているのですが、予算が五千万円ですので、期限内に商品券の引換総額が五千万円に達すれば、その時点で終了となり、逆に期限に達しても引換総額に満たない場合は、引換期間を延長することもあるそうです。

この制度を活用して売上アップに繋がることができれば良いと思っています。それと同時に障害者就労施設で作られている商品も品質の高いものが増えてきていますし、私たちのようにITの技術レベルの高い事業所もありますので、障がいがあっても質の高い仕事ができるんだということを、一人でも多くの人に知っていただく機会になることを願っています。

ぶうしすてむではパソコン教室や印刷物の制作等を提供しておりますので、パソコンを習いたい、設定の代行をしてほしい、パソコンのことで相談に乗ってほしい、名刺を作りたい、などなど、この機会に何かありましたら是非ご利用いただけたいと思います。インターネットで「愛顔共同受注ポータルサイト」で検索してホームページにアクセスすると、左下に「愛顔つなぐハートフルポイント制度特設サイト」へのリンクのバナーボタンがありますので、こちらのページも合わせてご覧いただけたらと思います。

副理事長を退きます

二神 重則

副理事長になった頃。ぶうしすてむが仕事を始めた年でした。障害者施策が就労へ大きく動く少し前の時代です。世の中はインターネットの時代に入り障害者の情報通信技術を使った在宅就業が現実味をおびてきた時代ですが、在宅で仕事ができるシステムは存在しませんでした。

在宅で働ける福祉作業所を作りたい。在宅就業者への発注を雇用率に換算してほしい。バーチャル工房事業を受託したい。等々で働いてみました。しかしそれらは実現しませんでした。他者に頼んでいたのではだめな事を知りました。

10年前障害者の働くを目指す目的で集まった人たちがいました。刺激し合いながら助け合いました。現在、その方たちはそれぞれの場で障害者の就労と言う目的を実現しつつあります。

新しい事は困難を伴いますが、今までにないものを作り上げて行く、苦しいが面白い時間でした。困難な日が続いていた当時、望めば、必要な人は来てもらえお金は何かあったしパソコンは揃ったし、奇跡のような事もありました。

皆さん、望みは捨てないで下さい。いつかは実現します。

自分の人生は自分が決める自立支援法が出来て、5年前に就労継続支援A型を目指しました。目標とした在宅就業の継続が可能となり30名近い人の雇用もなりました。10年前に目指した目標は実現しました。気がつけば70を超えていました。もう引き時だと。

理事長は慣れない多忙な仕事をこなしています。新しい副理事長は期待できる人ですが知らない事も多くご苦労されると思います。皆さんは力を合わせ、それぞれの生活を充実する為に何をやるのか目標を持って励んで下さい。ひいてはそれがそれぞれを助ける事になると思います。

副理事長拝命にあたり

副理事長 村上 正人

二神さんが副理事長を勇退することになり、後任を拝命しました村上です。

Bu.systemに関わって17年あまり。任意団体からNPO法人、A型事業所の設立と成長する「ぶうしすてむ」を、時間の流れと共に見守ってただけの私です。

副理事長を受けるべきか迷いましたが、「ぶう」の歴史を伝える必要もあり、利用者の立場から支援者とのパイプ役として、少しでもお役に立てるならとお受けすることにしました。

フットワークが軽く、何処にでも駆けつけられるという取柄しかありません。ただ、ハンディを持ちながら働くことの難しさは、当事者として十分理解しております。

また、ハンディが有るからと言って、甘えが許されるものでないことも理解しております。

だから、皆さんが、お互いに協力して有意義で幸せを感じられるような社会生活をおくれるよう、微力ながら努力していきたく思います。目指すは、福理事長です。

最後になりましたが、二神さん、長きにわたりご苦労様でした。でも、まだ完全引退は困ります。時には神になり、鬼にもなり、ご支援をお願いします。

平成27年6月1日

就労支援A型5年目突入

ぶうしすてむ就労継続支援A型事業所の4回目の誕生日をむかえました。これからも『全員が助け合う在宅就業のシステム』をめざして頑張ります。宜しくお願いいたします。



by コバン

『津々浦々』

全国のいたるところと言う意味。津は昔の船着き場、浦は湾の人が住んでいるところ。港は津の他にも湊や泊もある。津は関西圏に多く、湊は松山市湊町・青森県の大湊・神戸の湊川など海の港で、津は中津川や津山の様に川や大津や今津と湖の港にも使われている。泊は愛南町の外泊や神戸の和田の泊など。

沢山の人の住んでいたところを何とか千軒と言ひ、福山市の草戸千軒や松山沖の由利千軒・佐渡の相川千軒など。港や釜山・宗教・産業が盛んであったところ。そこへ行くと、その土地の盛衰を思い起こします。

塩の名の付くところは不思議な事に山の中に多く「何故？」

海辺に室を使ったところがあります。室津・神室島・室戸など「何故？」

京都北部と四国山中には「丹」を使った地名があります。水銀に関係するとか。

先日の旅は世界遺産の五箇山でした。合掌造りや火縄銃に使われた黒色火薬の硝石(KNO3)の精製所、そして「ささら」を初めて見ました。ささらは、竹の先を細かく割ってつくり、刻みをつけた細い棒でこするとサラサラと音のする物です。中世、宗教者による大道芸の説経節として各地で語られた際に伴奏として

用いられた。かれらは投げ銭の喜捨でその日の糧を得ていた、聴衆の心をつかめないと一家の死は目の前にあった。説経語りをする芸能者は「ささら乞食」とも呼ばれた。

演目として有名な「小栗判官」や「さんせう太夫」など、好いた人と結ばれる事の無い女達や理不尽な仕打ちを受ける男どもの身代わりに聴衆はその恋物語と仇討ちに涙を流した。

芸能者は障害者と関係が深く「瞽女（ごぜ）」は女性の盲人芸能者で伴奏は三味線、小泉八雲の「耳なし芳一」は「平家物語」を盲僧が琵琶を弾く。芸能民にとり旅は日常であった。

三味線は江戸期に発展し浄瑠璃となり、その後大阪で人形を使う人たちと竹本義太夫と近松門左衛門とがであって文楽はブームとなった。

様々な地名に人々の暮らしを思い。藤沢では小栗と照手姫の墓を、絶望した人々が沈む太陽に西国浄土を夢見た天王寺の西門、文楽の傑作「曾根崎心中」を発祥の地難波で見たい。

(紅い八月)



ウィキペディア「ささら」の文
八坂神社所蔵『洛中洛外図』(元和年間)にみえる屋外での説経節 大傘をかざし、むしろの上で棒ささらを摺って説経語りをしている。ひしゃくで投げ銭を集めている人物、顔をおおって泣いている聴衆の姿なども確認できる。



特定非営利活動法人 ぶうしすてむ 事務局

〒790-0821
愛媛県松山市木屋町3丁目12-7
TEL 089-923-5002 FAX 089-923-5020
http://www.busystem.jp/
info@busystem.jp

砥部事務所

愛媛県伊予郡砥部町八倉170
TEL 089-989-4400



石井 俊男

今日は、延岡の魅力について自然を中心として次の3つの点からお話しましょう。

- 1 美しい自然が残されていること
- 2 心の交わりが出来る風土であること

人間とは人と人との間と書きます。孤立しては生きていけません。しかし、やみくもに人間関係と言ってみても、良きパートナーシップが出来るわけではありません。

一人自然の中に、黙し待ちますと、その雄々しさ、優しさを体得出来るようになります。このように、自然と心の健全な関係が出来て初めて他の人との良きパートナーシップが可能になります。私は日本、世界各地を訪問しましたが、自然を背景とした人と人との美しい調和が具現化されている場所は延岡以外知りません。
- 3 今を自然に生きている人々

過去にとらわれず、将来を思い煩わず、今を気楽に生きている延岡市民。

これは、会社現役時代はPTA、ボーイスカウト、町内会等 今は、コミュニケーションがなか なかとれない方々のために、英会話や伝達指導等の奉仕活動に携わってきた実感です。そこには、何の気負いももらいも感じられません。 実に、さわやかな生き方です。その余裕の中に、笑顔とユーモアが生まれます。何気ない、挨拶、日常会話にこそ人生を楽しむ無尽蔵の宝物があるという事実。人生の達人。

これが、本末転倒しますと、イライラとあせりが待っているようです。

最後に、私の趣味、俳句と母の紹介をします。

「母摘みし 土筆一握 夜の居間」

子供の頃から、母と五ヶ瀬川の堤防に土筆を採りに行きました。そして一晩 居間に飾り、翌日、煮て砂糖と醤油で味付けしていただきました。その母も昨年5月29日に94歳で逝去しました。

母は短歌が好きでした。NHK 介護百人一首 2011 と 2022 に連続 100 選に選ばれました。約一万首の百首が二回ですから 1/100 × 1/100 一万分の一の確率。親ながらすごい。と思いました。愛する母の自慢をさせてください。

☆2011の歌

「ヘルパーの 坂本さんは 百円の 国語辞典をポケットに持つ」

母のコメント：午前8時のおむつ交換に来られる彼女は、ポケットから出した辞書で文字を確かめながら記録をされる。きちんと仕事をされるし、文字も間違えずに書かれている姿を見て、感心して詠みました。

☆2012の歌

「小学唱歌 いろはかるた 掛け算九九 思い出しつつ 夜明け待ちをり」

母のコメント：深夜目覚めて どうしようかと困り、小学唱歌やいろはかるた、掛け算の九九など次々に 思い浮かべて時を過ごします。

母は岡山の人で、子供の頃から「あなた なにさまじゃ〜」「おえら〜せんの〜(標準語で、だめだねという意味です)」と豪放磊落な人間でした。アンリージュナンに共感し岡山赤十字を出て、看護師として戦場に赴きました。人を愛し人に愛された人生でした。

皆さん ぼちぼち 時を待ちながら 共に進みましょう。

ボランティアBOX 開設

そうだ ボランティア しよう!

サポート内容

- ★視覚障がい者の方への(音声ソフト)
- ★聴覚障がい者の方への(通訳)
- ★発達障がい者の方への支援
- ★その他ITの支援
- ★家族支援(なんでも相談)
- ★学習支援(家庭教師・英会話 有償)

ボランティアBOX 連絡先・場所

NPO 法人 ぼうしすてむ

住所 〒790-0821 愛媛県松山市木屋町3丁目12-7

電話 089-923-5002 FAX 089-923-5020 e-mail bbox@busystem.jp

担当 川崎・河端

ボランティアBOXの手話教室を体験した感想

新しく開設されたボランティアBOXの手話教室に参加してみました。

手話を習ってみたいと思ったきっかけは、地元の友達に聴覚障害のグレーゾーンの子がいて私の滑舌が不明瞭なため、たまに聞き取れない時があるみたいなのでね。

その子はとっても性格が良くて好きな友達の1人です。簡単な単語でも良いので活用出来たらもっとお互いにスムーズに会話が出来たのしいんじゃないかなと思いました。人とのコミュニケーションを少しでもスムーズにさせたいと発達障がいの私は日々思います。

手話だけでなくボランティアBOXで自分の障がい以外の障がい特性をこれから知ることによって、健常者・身体・知的・聴覚・視覚・精神・発達等などの人たちが無理せず共存してより幸せに生きていけたらいいなあと思います。

嗅覚ないで音が嗅覚の障がいって聞かないでね。私は匂いに鈍感ですが逆に敏感で大変って人もいますね。敏感の人は大変そうですが、私は普段は特に困りません。鈍感なほうが生きていくのは快適かもしれないです。とっちも良さがあります。

それはさておいて、おもしろかったものに食芝居という手話がありました。私の、名前は、〇、〇、〇(一文字ずつ)も教えてもらったので「私の名前は〇〇〇食芝居」と帰省した時にその子に見せて「なんやそれ」って笑ってみたいと思います。

通じなかったらどうしよう(◎◎)ノ違う意味でなんやそれ?になってしまふね(笑)

初回は無料で体験できて、その後は1回200円で参加できます。毎月曜日16時からやっていますので興味がある方は気軽におこしください。その他ダンス教室や月1回土曜日にボランティア講習会(参加費1回500円)が今後開催される予定なので一緒に活動したいと思われる方のご連絡お待ちしております。

(※ついで掲載時には開催の状況に変更があるかもしれません)

【近詠五句】

新米や 田を見廻りし 伯父の雲 眼裏に 龍馬のあくび 通草の実
 おほかたは 鳩、虫、小鳥 朝の庭 秋冷や 小さな雨の 通り過ぎ
 秋の蚊の 名乗るごときに ぼそき声 重川洋一@松前町



by コバン

「ぼうしすてむ」の思い出 ～二人のチャレンジド～

村上 正人

心に残る、二人の生徒さんを紹介させていただきます。私が「チャレンジド」という言葉を知った頃に、お会いした方です。二人とも、手足が動かせない状態でした。講習会に来ることは難し、いので自宅訪問による家庭教師的な方法を取らせていただきました。

「君は、頭が動かさなかったので、パソコン操作は頭に付けたセンサーによるものです。彼が強く記憶に残っているのは、パソコン講習云々ではありません。彼が自分のおかれた環境下で、友人たちとヘルパーの力を借り一人で生活していたからです。また、自分の様に常時助けが必要でも、それを頼める仕組みが整ってないのなら、自分で作ればよいと起業したことです。常に前を向いた、ガッツの有る青年です。友だちも「何かあれば、いついかなる時でも 駆けつける」と言う、責任を伴う友情を持った頼もしい若者たちです。

一方、Kさんは、頭も動かすことが出来ないで、呼吸スイッチを使っていました。呼吸スイッチのような入力補助装置の知識も操作経験も講習会での指導経験も有りましたが、実際にこれしか使えない人にパソコン操作を教えるのは、初めてでした。

アイコン1つ、メニュー1つ選ぶにも、大変な作業です。彼女は、人工呼吸器を付けた状態で、その作業を続けました。私が指示を間違えると、初めからやり直しです。手でマウスを動かすのは訳が違います。間違いをしないようにと、予習を何度繰り返しても本番で指示ミスします。中々、気づきませんでした。家での予習はマウスを手で動かします。ミスしている事さえ気づかないのです。マウスポインターが少々右だろうと左だろうと、手で動かす際には、気にも留めてないのです。週1回2時間の講習の準備に、残りの6日間を当てても、本番でミスがゼロになることは有りませんでした。

彼女は、根気強く作業を続けましたが、私の心の方がもちませんでした。彼女の自宅に行くのが、不安になり、恐れさえ感じました。気持ちが切れると、体は正直です。持病の不整脈が頻繁に出るようになりました。除脈はペースメーカーで抑えていますので問題ないですが、頻脈発作が起こります。彼女への指導は、2か月も続けることは出来ませんでした。本当に申し訳ないという気持ちで、彼女のことを忘れることが出来ません。

ただ、救いは他のA型に利用者登録され、活動されていることです。不整脈とギランバレー、私にも持病と後遺症が有りますが、二人のチャレンジドとお会いして、自分の弱さを恥ずかしく思います。

「チャレンジド」という言葉について

～プロップ・ステーションからの提案～の一文から… いい表現ですね。

「弱者に何かをしてあげるのではなく、弱者を、弱者で無くして行くプロセスを福祉と呼びたい」

公共交通機関に望むこと

「せとらちバスで車椅子マークついたら走るとやんがぁ。あれ乗れるんかな」「まぁ、知らんな～」

心のわ創設以来、JR利用計画(自分の家から最寄りの駅を利用し、市外・県外へ出かけ駅・街のバリアフリー状況を調べるといふ名の日帰り旅行(笑))は進めてきたが、市内での移動を考えると、自家用車とタクシーであった。しかしタクシーは高額になり頻繁には乗れず、自家用車も運転手がいなくて動けないというのが現状である。「公共交通機関が発展すればいいのに。または市がなにか打ち出してくれないだろうか」と思っていた。

ある日、『せとらちバス』のことをネットで調べていると、四国運輸局のページに市内小学校で【バスの乗り方教室】が開催されている様子が掲載されており、しかもバスの提供が『せとらちバス』。これはチャンス!【バスの乗り方教室】がもう一度市内で行われたい、または自分たちが主となり開催できるかを四国運輸局へ問い合わせをしたら返事は次年度の開催ということ快諾だったが障害者を対象に開催したことはないそう。また運輸局からは電動車椅子で乗降を試したことがない、スロープが重さに耐えられるかわからない

と言われた。事前に一人が乗降体験を行い、「バスに乗れるかも」ということをメンバーに伝えると「隣町に映画を見に行ける!」「移動が安価でできる」等ワクワクしてきた。しかし、バス停で時刻表を見ても乗れるバスがいつ来るのか明記されていない等質問したいこともできなかった。

当日は、メンバー5人で一人ひとりバスに乗降体験を行った。時間の都合上走行体験はできなかったがバスに乗れることは全員理解できた。体験すること「バスは前日までに乗車時間を言うと乗れるバスを手配してくれること」「年1回は社内研修が行われていること」がわかり、また要望として①いつでも乗れるようにしてほしい②運転手さんの良い対応を③車いす固定がスムーズにできるようにしてほしい④バスに車いす2台は乗れるようになってほしい等各々想いを瀬戸内運輸、四国運輸局の方に自分たちの重いを伝えることができた。

電車・バス・船・飛行機・宇宙船(笑)等公共交通機関はあるが、自分が必要なときに乗れないと意味がない。今回のせとらちバスも、事前に連絡すれば乗ることが出来るが「暇やなー、どっか行こか」で乗れるには何年後になるかわからんけど、望んでいるのは僕たちだけじゃないんちゃうかな。

NPO 法人 心のわ 宮崎憲士

編集後記

娘の事です。6月の初めに総体があり、中学校での部活が終わりました。学年でただ一人になった時の不安や寂しさ、怪我をしてもずっと我慢してやり抜いた事、キャプテンとしてチームの事を考えなければならなくなった責任を抱えながらよく頑張ったと娘ながら尊敬します。そんな娘の成長を誇らしく楽しみにしている今日この頃です。

M.K

